

## 蜜蜂のバロア病（ダニ）対策について

蜜蜂に寄生するダニは数種類ありますが、肉眼で見ることが出来る「ミツバチヘギイタダニ（以下、ダニ）」の感染は、バロア病と呼ばれ家畜伝染病予防法の届出伝染病に指定されています。

バロア病は、法的な届出義務があるだけでなく、蜂群への影響は腐蛆病以上とも言われるほどです。

蜜蜂に見られる疾病は、繁殖力が旺盛な蜂群では自然治癒することも多いのですが、バロア病の場合、ダニが蜂児に寄生し巣房内で繁殖することから、蜜蜂の増殖期にはダニも爆発的に増殖してしまいます。

肉眼でダニを確認してからでは手遅れになる場合がありますので、シュガーロール法（裏面）などによりモニタリングすることをお勧めします。

### 〔 対策 〕

動物用医薬品（商品名：日農アピスタン、アピパール）があります。

医薬品以外にも、チモール、ギ酸、シュウ酸など、ダニに対して忌避・殺虫効果のある薬品があります。

動物用医薬品は、添付説明書を参照し、使用時期、使用期間、使用量を必ず守ってください。

また、ダニが雄の蜂児に好んで寄生する特性を利用して、雄用巢礎枠を利用する方法も有効です。

### 〔 注意点 〕

- ・動物用医薬品（上記 2 品）は、劇薬かつ、使用規制対象医薬品です。
- ・ギ酸やシュウ酸は、劇物に指定されています。

ハチミツや蜜ろうへの残留や、取扱いに注意してください。

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345 番地

TEL (0463) 58-0152 FAX (0463) 58-5679

# シュガーロール法

(粉砂糖を使ったモニタリング手法)

## << シュガーロール法によるミツバチヘギイタダニの寄生率の把握 >>

「ダニに気が付いた時点で、相当な寄生率だった！」なんて事がないように、寄生率をモニタリング（監視）し、ダニの侵入をいち早く察知しましょう。

駆除対策で薬剤を用いる前後に測定することで、効果判定にも役立ちます。

### 〔 材 料 〕

- ・粉砂糖：「粉糖」もしくは、砂糖をミキサーで細かくして使用
- ・アミ蓋付き計量ビン（以下、容器：図参照）



### 〔 方 法 〕

- ・蜂児圏にいる蜜蜂をふるい落とし、200匹を「容器」に入れ、蓋をする
- ・アミの上から粉砂糖を大さじ2杯（蜜蜂100匹に対し大さじ1杯）入れる
- ・アミから粉砂糖が漏れないように押さえながら20～30秒間ゆっくりと容器の転倒を繰り返す…（蜜蜂の腹側にも満遍なく、粉砂糖が付着するように）
- ・10秒ほど静置する（蜜蜂が粉砂糖とともにダニを掻き落とします）
- ・約90%のダニが落下するので、落下したダニを数えて寄生率を算出する  
（200匹の蜜蜂を検査した時の計算式）

蜂児が無い場合…落下ダニ数 × 1.1 ÷ 2 = 寄生率（%）

蜂児がある場合…落下ダニ数 × 1.1 = 寄生率（%）

### 〔 注 意 〕

粉砂糖を利用したミツバチヘギイタダニ対策として、巣枠の上から蜜蜂に対し粉砂糖を振りかけるという方もいるようですが、次のことに注意が必要です。

- ・粉砂糖が蜜蜂の体全体に付着しにくい（ダニは腹側にも多く寄生している）
- ・落下したダニは、死んでいません
- ・巣箱の底が汚れます
- ・粉砂糖がハチミツに移行することがあります

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345 番地

TEL (0463) 58-0152 FAX (0463) 58-5679